

令和8年度

工 事 設 計 書

(金抜き設計書)

工事名 上水道配水管布設替工事（下三本杉地区 R8-1 工区）
工事場所 琴浦町大字三本杉

位置図



工 事 仕 様 書

工 事 仕 様 書

I 総 則

本工事の仕様・指示にあたりその優先順位は次のとおりとする。

- 1) 特別仕様書（下記Ⅱのとおり）
- 2) 共通仕様書
鳥取県土木工事共通仕様書・琴浦町水道工事仕様書に準ずる。
- 3) 設計図書
- 4) 施工管理（土木工事施工管理基準）

上記図書に明記されていない事項で、工事施工上必要な事項については、その都度、監督員と協議しその指示に従うものとする。

Ⅱ 特別仕様書

1) 工事概要

1. 工 事 名 上水道配水管布設替工事（下三本杉地区R8-1工区）
2. 工事場所 東伯郡琴浦町大字三本杉
3. 工事内容 本設配水管布設 HPPE $\phi 100$ L=111.6m
HPPE $\phi 150$ L=112.7m

2) 工事完成期限 令和9年1月15日

3) 安全・訓練等の実施に関する特別仕様書

1. 労働安全衛生法第59条、第60条及び第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事現場に即した安全・訓練等を全ての作業員を対象に毎月1回、半日以上の時間を割当て実施するものとする。
2. 安全・訓練等の実施について「鳥取県土木工事仕様書」第103条施工計画書の「安全管理」に実施事項を記載し監督員に提出するものとする。

4) 施工に関する特別仕様書

1. 形状、寸法等が設計図と異なる場合は、他に支障を生じない限り監督員と協議の上、処理する。
2. 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査等並びにその費用は本工事請負者の負担とする。
3. 工事写真の撮影について
 - ①施工前 ⇄ 施工後 ⇄ 完成の順に同一場所にて撮る（撮影方向を統一する）
 - ②撮影の位置を示す説明図を添付すること。
 - ③安全管理の標識写真を撮る。
 - ④掘削と埋戻の材質の異なる部分その他色別を必要とする部分は入念に撮る。
又、管材等の埋設するものは規格番号を明確に撮る。
 - ⑤掘削断面図の撮影は黒板の図の書き方と箱尺等が一致し、わかりやすく説明出来る様に撮る。
 - ⑥その他構造物の寸法ポイントを明確に撮る。

4. 提出書類について

使用材料承認願、使用材料搬入報告書、主要材料納品書、各材料試験成績表、主任技術者経歴書、保険等証書の写、工事日報、工事写真、

その他工事に必要なもの。

契約金額が500万円以上の工事については、契約後10日以内にその工事内容を工事实績情報システム（CORINS：コリンズ）に登録し、工事カルテを提出すること。

5. 監督員の指示により舗装復旧コアーを取り確認を得ること。
6. 設計書に記載されている観測点をペンキ（舗装）、杭にて印すること。
7. 掘削部分はその日に埋戻を行う、又路上に段差を生じる場合には、点滅等、バリケード等で防護する。
8. 設計図書に明記なき場所に、はつり部分が生じた場合、すべて原形復旧とする。
9. DCIP、RRVP、PE融着継手は、チェックシートで管理する。
10. 配管終了後、水圧試験、通水試験を実施すること。水圧試験は、自記圧力計で測定し、安定していること。
11. 交通の状況等により必要となる場合、夜間作業を行なうものとし、監督員と充分打合せを行い、施工すること。
12. 漏水箇所には、水止めを行い道路の沈下等に対処すること。
13. ボルト、ナットは全てステンレスとし、SUS304、ナットはSUS403とする。
14. 埋設管には、埋設表示シートを布設すること。
15. 工事完了後2年以内に復旧路面が沈下を生じた場合、請負者の責任において、すみやかに復旧するものとする。
16. No、測点等は、布設ポイントに測点ピン（青）を打ち明示すること。

仕 様 書

一般事項

(適用範囲)

1. この工事標準仕様書（以下仕様書という）は、請負者が請負により施工する各種工事に適用するものとする。
2. この仕様書に定めのない事項は、別に特記仕様書で定めるものとする。
3. この仕様書の定めと、特記仕様書の定めが異なるときは、特記仕様書によるものとする。

(諸法規の適用)

1. 本工事の施工にあたっては、別紙図面、設計書及び請負契約書によるほか、琴浦町財務規則、並びに琴浦町水道工事仕様書（日本水道協会参照）、鳥取県土木工事仕様書、特記仕様書に準拠するものである。

(工事管理)

1. 承認された工程表に基づく工事施工の時期、順序ならびに工程表の変更等については監督員の承認を得なければならない。
2. 請負者は、実施工程表、工事日誌、材料受払簿の帳簿を備え、監督員の要求により工事日報を提出しなければならない。
3. 工事施工の都合上、夜間作業を必要とするときは、あらかじめ監督員の承認を得なければならない。又、監督員が工程管理あるいは現場管理上必要と認めたときは、夜間作業を命ずる事がある。

(現場管理)

1. 工事箇所及びその周辺にある地上及び地下の既設構造物に対しては、工事施工に伴い支障を及ぼさないように、関係者と協議の上、所要の処置をしなければならない。
2. 工事現場内及びその周辺には、所要の標識灯、標識、防護柵、及び立ち入り禁止の立札等を設備し必要に応じ照明設備を設け、あるいは信号員、見張員を置く等一般公衆及び作業員の安全を確保する為の万全の施設をしなければならない。

(品質管理)

1. 請負者は、工事施工中絶えず品質管理を行い、監督員から要求があった場合は、その結果を提出しなければならない。

(工事写真)

1. 請負者は、監督員の指示により、工事竣工後外部から明視、測定等がなくなる箇所、竣工時まで撤去する仮設物、あるいは竣工後まで残存しない維持的物件の施工状況並びに重要な工事段階等の工事状況を撮影しなければならない。
2. 工事写真の提出部数は1部とし、大きさは特に監督員が指示する場合のほかは、サービス判とする。
3. 写真は設計図書に基づき構造物の施工状況、出来高、品質管理等工事の進行とともに、その実態が検査時において確認できる様にし、特に水中または地下に埋設する箇所に重点をおいて撮影するものとする。（黒板明示）

(官公署及び民間との交渉、協力)

1. 請負者は工事中関係官公署、その他と緊密に連絡して充分協調を保つとともに工事現場に関係ある一般民間人に対しても親切を旨として工事の円滑な運行を図らなければならない。
2. 請負者が工事施工のため必要とする関係官公署、その他に対する手続きは、工事に支障のないように延滞なく処理しなければならない。

(工事検査)

1. 工事の出来高検査にあたっては、請負者又は、現場代理人及び主任技術者は立ち合わなければならない。
2. 請負者は、検査方法について異義を申し立てることができない。

(請負者の負担)

1. 請負者は設計図書及び仕様書に明示していない費用であっても、工事施工上当然必要と認められるものは、これを負担しなければならない。
2. 施工に際し第3者に損害を与えた場合は、直ちに原形復旧をなし、且つこれの補償。
3. 引渡前の管理不行届きによって生じた損傷及び検査により生じた材料及びその他の損傷部分の補修。

(材料)

1. 工事用材料は、設計図書又は、仕様書に品質、規格を明示したもののほか J I S の規格のあるものにあつては、これに合格するものとし、すべて使用前に監督員の検査に合格したものでなければならない。

(材料試験及び検査)

1. 工事用主要材料は、必要に応じ材料試験を行い監督員の承認を受けなければならない。
2. 試験又は、検査に合格した材料でも使用時において変質又は、不良品となったものは使用してはならない。

管布設関係

(布設位置)

1. 管布設の土被りは、設計図に正確に決定し必要に応じて地下埋設物、その他障害物を確認し監督員と協議の上布設位置を決定しなければならない。

(掘削工)

1. 機械掘削をする場合は、施工区域全般にわたり地上、地下埋設物に充分注意しながら行なわなければならない。

(埋戻工)

1. 埋戻は所定の土砂を用い、片埋めにならないように注意しながら充分締め固めなければならない。
2. 埋戻に際しては、管、その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動を生じたりしないよう注意して行なわなければならない。

(弁類の取扱い)

1. 弁類の取扱いは、弁代（角材）等を敷いてボルト締めで片締め等ならない様注意して据付なければならない。

(管据付)

1. 管据付けにあたっては、充分内部を清掃し、埋設深さを確認して、移動しないよう胴締めを賢個に行い、管鑄出文字を上向きにして据付けなければならない。
2. 管据付けには、管に影響をあたえないように床付面を仕上げ必要に応じ砂を敷き、又は、枕木を並べる等の処置をしなければならない。
3. 1日の布設作業完了後は、管内に土砂、汚水等が流入しないよう木蓋等で管末端をふさがなければならない。
4. 管布設完了後は、一定区間ごとに水圧試験を行なうが、その圧力強度及び継続時間は監督員が指示する。

(既設石綿管について)

1. 石綿セメント管の切断等の作業を行うときは、管を湿潤状態にして石綿粉じんの発散を防止し、呼吸用保護具（防じんマスク）及び作業衣（または保護衣）を使用し予防する。
2. 保護具等は、他の衣服から隔離して保管し、廃棄のために容器等にこん包したとき以外は、付着した物を除去した後でなければ作業場外に持ち出してはいけない。
3. 石綿セメント管を廃棄する場合は産業廃棄物の処理基準に基づいて処理を行う。

現場説明書

[illegible]

上記説明事項及び別紙一般の事項・特記事項（施行条件明示事項）は、了承しました。

[illegible]

現場説明書

1

令和8年5月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 本工事は、琴浦町週休2日工事実施要領（令和6年3月29日付）の対象工事である。琴浦町ホームページ（トップページ行政情報＞入札・契約＞琴浦町入札契約関係要綱・要領集）に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地 関係	④（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支 障 物 件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立木の置き場所） 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
公 害 対 策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

現場説明書

2

安全対策

①（交通安全施設等）

一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。

交通誘導員A _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日
工事全体合計 _____人・日

交通誘導員B _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日
工事全体合計 _____人・日

警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。

交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。

また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。

なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。

濁水處理

① (濁水処理)

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。

また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）

(<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf>) に基づいて適正に処理すること。

【建設発生土（処理）】

~~① (他王事等流用)~~

建設発生土は_____市・町・村_____地内の _____ 工事現場に運搬
(片道運搬距離 _____ km) するものとする。

② (建設技術センター)

建設発生土は琴浦市・町・村 八橋 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 19 km）するものとする。なお、処理費として1㎡当り 1,650 円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上）

~~③ (民間残土受入地)~~

建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1㎡当り_____円を_____に支払うこと。

民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上）

④ (土質改良プラント)

建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1m³当り_____円を_____に支払うこと。

土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上）

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

~~① (分別解体等)~~

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊 1m³当り 円

アスファルト塊 1 m³当り _____ 円

建設発生木材 1 m³当り _____ 円

~~② (他工事等流用)~~

〔Co雑割材・
ものとする。〕は、_____市・町・村_____地内_____工事で使用する

③(バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④(木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤(再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・
受入れ費用)

コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

アスファルト塊 北栄市・町・松神地内の中部舗装株式会社
(運搬距離24 km)、費用 1 t 当り_____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

その他 () _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

(受入れ時間帯)

8時～17時(平日)

(受入れ条件)

ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥(最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦(産業廃棄物の処理に係る税)

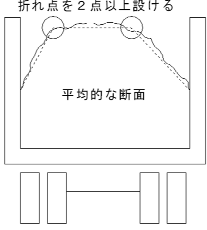
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧(伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨(建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m3))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩(マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用)= _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。 ② (再生資材の使用)= ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Rc- _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格： _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名： _____〕〔規格： _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① (農地の一時転用について) 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ② (農地の賃貸借)= ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	① (自社施工)= 本工事においては、(※) _____工 (_____工を除く) のうち少なくとも _____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。 ② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、 _____上水道配水管布設替工事(下三本杉地区R8-1工区) とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

③（景観評価）

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。
イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④（工事成績評定）

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象とする・しない。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計 金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、5 0 0 万円未満の 一般土木工事及び2 5 0 万円未満の建築・設備工事
イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和 27 年法律第 180 号）第 2 条第 1 項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和 26 年法律第 97 号）第 2 条第 2 項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤（監督体制）

本工事の監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

~~⑥（三者協議）~~

本工事は、（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

~~⑦（技能士常駐）~~

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
ア 技能士種別： 技能士、該当工種： 工、特記事項根拠： 頁
イ 技能士種別： 技能士、該当工種： 工、特記事項根拠： 頁
ウ 技能士種別： 技能士、該当工種： 工、特記事項根拠： 頁

~~⑧（電子納品）~~

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

~~⑨（情報共有システム）~~

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

~~⑩（寒中コンクリート）~~

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

そ
の
他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン、高所作業車及び橋梁点検車は、通常単価を採用し、その他の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り_____〕〕

⑫（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの実施内容を実施すること。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 昇降設備の充実, 2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実, 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策 5. （港湾・漁港工事のみ）防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等

【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。

また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

~~⑭（現場管理費補正）＝~~

【治山工事、林道工事以外】（該当しない場合は削除）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知）の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

【治山工事、林道工事】（該当しない場合は削除）

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知）の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑮（日本芝生産地への配慮）

日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア 「張芝工・筋芝工」は、日本芝の「野芝・高麗芝」を使用すること。

イ 「植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工」に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ 「わら芝工・植生シート工・植生マット工」に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り 〇〇円を見込んでいる。

~~⑯（ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)]）＝~~

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

~~⑱（標示板の設置）＝~~

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

~~⑲（CCUS活用推奨工事[受注者希望型]）＝【災害復旧工事、受託工事は対象外（当該項目を削除する）】~~

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

~~⑳（遠隔臨場）＝~~

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

その他

~~㊤ (快適トイレの試行)~~

その他

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事、港湾工事、漁港工事以外】（該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】

(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】

(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。

2. 【港湾工事、漁港工事】（該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】（1）～（6）及び【付属品として備えるもの】（7）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※1までを原則とするが、監督職員と協議により必要と認められる場合は、増設できるものとする。

また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※1より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わないものとする。

ただし、海上運搬を伴う運搬・設置・撤去費用については、別途共通仮設費に積上げ計上※2するものとする

※1 施工箇所が点在する工事など、トイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所計上できるものとする。

※2 快適トイレの海上運搬費用については、1回あたり当該工事で使用する作業船供用損料0.5日分の費用を計上するものとする。なお、他の資材と混在して運搬する際には、快適トイレ個別での運搬費用は計上しない。

②③（大型コンクリートブロック積擁壁）

大型ブロック及び基礎コンクリートは〇〇〇〇〇〇（製品名を記載）（以下「想定製品」という。）同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。

②③（けんせつトリピーのデザイン使用）

鳥取県が著作権を有するけんせつトリピーのデザインは、工事看板、工事案内チラシ等、工事をPRする目的に無料で使用できるので、積極的に活用すること。使用に当たっては、鳥取電子申請サービスから届出を行うこと。（届出送信後は、すぐに画像データを使用可能となる。）鳥取電子申請サービス<https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/>（けんせつトリピーで検索）



設計書

＊本工事費＊

内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費											
上水道配水管布設替工事(下三本杉地区R8-1工区)											
		1			式						
HPPE φ 100(下見線) L=111.6m										第1号 内訳書	
		1			式						
HPPE φ 150(第2配水池線) L=112.7m										第2号 内訳書	
		1			式						
土工 H=0.9m 町道 As舗装										第3号 内訳書	
		1			式						
直接工事費計											
		1			式						
うち材料費											
		1			式						
うち労務費											
		1			式						
共通仮設費											
		1			式						

＊本工事費＊

内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	通水試験工 HPPE φ 100 既設管と連絡せず給水車で注水										施工 第0-0047号表
		111.6	m								
	通水試験工 HPPE φ 150 既設管と連絡せず給水車で注水										施工 第0-0048号表
		112.7	m								
技術管理費計											
		1	式								
共通仮設費(率計上)											
		1	式								
純工事費											
		1	式								
現場管理費											
		1	式								
工事原価											
		1	式								
一般管理費等											
		1	式								
工事価格											
		1	式								

＊本工事費＊

内訳書

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税相当額											
		1			式						
工事費計											
		1			式						

諸經費計算書

上水道配水管布設替工事（下三本杉地区R8-1工区）

[illegible]

＊本工事費＊

第1号内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
材料費(下見線) HPPE φ 100 L=111.6m											工種 第1号表
		1			式						
労務費(下見線) HPPE φ 100 L=111.6m											工種 第2号表
		1			式						
合計											
1式当り											

＊本工事費＊

第2号内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
材料費(第2配水池線) HPPE φ 150 L=112.7m											
		1			式						
労務費(第2配水池線) HPPE φ 150 L=112.7m											工種 第3号表
		1			式						
合計											
1式当り											

＊本工事費＊

第3号内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
土工(町道 As舗装) H=0.9m										工種 第5号表	
		1			式						
合計											
1式当り											

材料費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第1号表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
水道配水用ポリエチレン管(直管) EF受口付 φ100×5m											
		19		本							
水道配水用ポリエチレン管(直管) プレーンエンド φ100×5m											
		2		本							
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) φ100×4m											
		1		本							
メカニカルベント 内外面粉体 V150 45°										R8琴浦町見積単価	
		1		個							
メカニカルベント 内外面粉体 V100×HP100 45°											
		1		個							
メカニカルベント 内外面粉体 HP100 45°										R8琴浦町見積単価	
		2		個							
メカニカルフランジ 内外面粉体 F150×HP100 7.5k										R8琴浦町見積単価	
		1		個							
メカニカル片落ち管 内外面粉体 V150×V100										R8琴浦町見積単価	
		1		個							
EF両受ベンド φ100×45°											
		2		個							

材料費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第1号表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
EF両受ベンド φ 100×22° 1/2							
		2		個			
EF両受ベンド φ 100×11° 1/4							
		2		個			
EF片受ベンド φ 100×45°							
		2		個			
EF片受ベンド φ 100×22° 1/2							
		1		個			
EFソケット φ 100							
		2		個			
EF両受Sベンド φ 100×300H							
		2		個			
フランジ付きEFチース [※] (両受) φ 100×φ 75							
		2		個			
両フランジ短管 内外面粉体 φ 75×200L 7.5k							R8琴浦町見積単価
		2		個			
ボールジョイント式補修弁 内外面粉体 φ 75×150H 7.5k							
		2		個			

材料費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第1号表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
カムレバーロック式急速空気弁 φ 25 フランジ一体型							R8琴浦町見積単価
		2		基			
LSPフランジ結合補強具(ボルト、緩止ナット、パッキン) φ 75 7.5k SUS304							R8琴浦町見積単価
		6		組			
LSPフランジ結合補強具(ボルト、緩止ナット、パッキン) φ 150 7.5k SUS304							R8琴浦町見積単価
		1		組			
空気弁ボックス 円形3号 H=0.9m用							R8琴浦町見積単価
		2		組			
溶剤浸透防護スリーブ φ 100							R8琴浦町見積単価
		108.7		m			
溶剤浸透防護スリーブ固定用ゴムバンド φ 100用							R8琴浦町見積単価
		73		個			
埋設標識シート シングル 幅150mm							
		110.7		m			
管明示テープ 年号入り 幅50mm							R8琴浦町見積単価
		111.6		m			

材料費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第1号表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
合計							
1式当り							

労務費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第2号表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管据付工 EF接合 φ 100							施工 第0-0001号表
		108.7	m				
硬質塩化ビニル管据付工 φ 100							施工 第0-0002号表
		2	m				
硬質塩化ビニル管据付工 φ 150							施工 第0-0003号表
		0.8	m				
ポリエチレン管継手工 EF接合:1口 φ 100							施工 第0-0004号表
		32	箇所				
ポリエチレン管継手工 EF接合:2口 φ 100							施工 第0-0005号表
		5	箇所				
ポリエチレン管継手工 メカニカル接合 φ 100							施工 第0-0006号表
		6	口				
メカニカル継手工 塩ビ管 φ 100							施工 第0-0007号表
		2	口				
メカニカル継手工 塩ビ管 φ 150							施工 第0-0008号表
		3	口				
フランジ継手工 φ 75 7.5k							施工 第0-0009号表
		6	口				

労務費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第2号表

頁0-0016

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
フランジ継手工（取外・取付） φ150 7.5k							施工 第0-0010号表
		1		口			
補修弁設置工 ホールレバー式 φ75×150H							施工 第0-0011号表
		2		基			
空気弁設置工 カムレバーロック式 フランジ一体型 φ25							施工 第0-0012号表
		2		基			
空気弁ボックス鉄蓋設置工 円形3号（φ500）							施工 第0-0013号表
		2		個			
空気弁用レジンコンクリート製ボックス設置工 円形3号 H=0.9m用							施工 第0-0014号表
		2		組			
ポリエチレン管切断工 φ100							施工 第0-0019号表
		15		口			
硬質塩化ビニル管切断工 φ100							施工 第0-0020号表
		1		口			
硬質塩化ビニル管切断工 φ150							施工 第0-0021号表
		5		口			
溶剤浸透防護スリーブ被覆工 φ100							施工 第0-0022号表
		108.7		m			

労務費（下見線）

工 種 明 細 書

工種 第2号表

頁0-0017

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
埋設標識シート工 シングル 幅150mm											
		110.7	m								
管明示テープ工 幅50mm φ100ポリエチレン管											施工 第0-0023号表
		111.6	m								
合計											
1式当り											

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
水道配水用ポリエチレン管(直管) EF受口付 φ150×5m							
		17	本				
水道配水用ポリエチレン管(直管) フレーンエント φ150×5m							
		4	本				
水道用体衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) φ150×4m							
		1	本				
メカニカルベント 内外面粉体 V150 45°							R8琴浦町見積単価
		1	個				
メカニカルベント 内外面粉体 V150×HP150 45°							
		1	個				
メカニカルベント 内外面粉体 HP150 45°							R8琴浦町見積単価
		2	個				
メカニカルフランジ 内外面粉体 HP150 7.5k							R8琴浦町見積単価
		1	個				
EF両受ベンド φ150×45°							
		2	個				
EF両受ベンド φ150×22° 1/2							
		2	個				

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
EF両受ベンド φ 150×11° 1/4							
		2		個			
EF片受ベンド φ 150×45°							
		2		個			
EF片受ベンド φ 150×22° 1/2							
		1		個			
EFソケット φ 150							
		1		個			
EF両受Sベンド φ 150×300H							
		2		個			
フランジ付きEFチース [*] (両受) φ 150×φ 75							
		2		個			
両フランジ短管 内外面粉体 φ 75×200L 7.5k							R8琴浦町見積単価
		2		個			
ボールレバー式補修弁 内外面粉体 φ 75×150H 7.5k							
		2		個			
カムレバーロック式急速空気弁 φ 25 フランジ一体型							R8琴浦町見積単価
		2		基			

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
LSPフランジ結合補強具(ボルト、緩止ナット、パッキン) φ75 7.5k SUS304						R8琴浦町見積単価
	6		組			
LSPフランジ結合補強具(ボルト、緩止ナット、パッキン) φ150 7.5k SUS304						R8琴浦町見積単価
	1		組			
空気弁ボックス 円形3号 H=0.9m用						R8琴浦町見積単価
	2		組			
不断水バルブ(塩ビ管・鋼管用) φ150						R8琴浦町見積単価
	1		基			
仕切弁ボックス 円形1号 H=0.6m用						R8琴浦町見積単価
	1		組			
溶剤浸透防護スリーブ φ150						R8琴浦町見積単価
	109.8		m			
溶剤浸透防護スリーブ固定用ゴムバンド φ150用						R8琴浦町見積単価
	74		個			
埋設標識シート シングル 幅150mm						
	111.8		m			
管明示テープ 年号入り 幅50mm						R8琴浦町見積単価
	112.7					

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
合計							
1式当り							

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管据付工 EF接合 φ 150							施工 第0-0025号表
		109.8	m				
硬質塩化ビニル管据付工 φ 150							施工 第0-0003号表
		2.9	m				
ポリエチレン管継手工 EF接合:1口 φ 150							施工 第0-0026号表
		31	箇所				
ポリエチレン管継手工 EF接合:2口 φ 150							施工 第0-0027号表
		5	箇所				
ポリエチレン管継手工 メカニカル接合 φ 150							施工 第0-0028号表
		6	口				
メカニカル継手工 塩ビ管 φ 150							施工 第0-0008号表
		3	口				
フランジ継手工 φ 75 7.5k							施工 第0-0009号表
		6	口				
フランジ継手工(取外・取付) φ 150 7.5k							施工 第0-0010号表
		1	口				
補修弁設置工 ボールバレー式 φ 75×150H							施工 第0-0011号表
		2	基				

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気弁設置工 カムレバーロック式 フランジ一体型 φ25						
	2		基			施工 第0-0012号表
空気弁ボックス鉄蓋設置工 円形3号(φ500)						
	2		個			施工 第0-0013号表
空気弁用レジンコンクリート製ボックス設置工 円形3号 H=0.9m用						
	2		組			施工 第0-0014号表
ポリエチレン管切断工 φ150						
	14		口			施工 第0-0029号表
硬質塩化ビニル管切断工 φ150						
	5		口			施工 第0-0021号表
不排水バルブ設置工(塩ビ管・鋼管用) φ150						労務単価
	1		基			
仕切弁ボックス鉄蓋設置工 円形1号(φ250)						
	1		個			施工 第0-0030号表
仕切弁用レジンコンクリート製ボックス設置工 円形1号 H=0.6m用						
	1		個			施工 第0-0031号表
溶剤浸透防護スリーブ被覆工 φ150						
	1		m			施工 第0-0035号表

工 種 明 細 書

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋設標識シート工 シングル 幅150mm							施工 第0-0023号表
		111.8	m				
管明示テープ工 幅50mm φ150ポリエチレン管							施工 第0-0036号表
		112.7	m				
合計							
1式当り							

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断工 アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下						SPK25040307
	226.3	m				第1号 施工パッケージ代価表
舗装版破碎工 アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下						SPK25040306
	1	m2				第2号 施工パッケージ代価表
機械掘削工(バックホウ) 土砂						SG1D0001002
	138.4	m3				施工 第0-0037号表
人力掘削工 土砂 現場制約あり						SPK25040001
	1.3	m3				第3号 施工パッケージ代価表
購入土 真砂土						
	141.5	m3				施工 第0-0039号表
機械投入埋戻工(バックホウ) タンパ締固め 購入土(真砂土)						SG1D0002003
	106.1	m3				施工 第0-0040号表
運搬工 機械積込 真砂土 4t積 0.5km以下						SG1E0003002
	141.5	m3				施工 第0-0041号表
積込(ルース) 真砂土 小規模(標準)						SPK25040007
	141.5	m3				第5号 施工パッケージ代価表
下層路盤工 RC-40 t=15cm						SPK25040235
	117.9	m2				第6号 施工パッケージ代価表

土工 (町道 As舗装)

工種明細書

工種 第5号表

頁0-0026

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
上層路盤工 M-30 t=11cm							SPK25040237
		117.9	m2				第7号 施工パッケージ代価表
仮舗装工 再生粗粒度As(20) t=3cm							SPK25040244
		117.9	m2				第8号 施工パッケージ代価表
発生土運搬工 機械積込 土砂 4t積 19.0km以下							SG1E0003002
		138.6	m3				施工 第0-0043号表
殻運搬工 機械積込 As殻 10t積 28.4km以下							SPK25040155
		4.6	m3				第9号 施工パッケージ代価表
残土等処分工 建設残土投棄料							SPK25040011
		138.6	m3				施工 第0-0044号表
産業廃棄物処分費 As塊							土木単価
		10.9	t				
軽量鋼矢板建込工・引抜工(両側分) 矢板長2.0m以下							
		8.1	m				施工 第0-0045号表
合計							
1式当り							

单 价 表

ポリチレン管据付工 EF接合
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0001号表

頁0-0027

10 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.2	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

硬質塩化ビニル管据付工
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0002号表

頁0-0028

10 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.2	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

硬質塩化ビニル管据付工
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0003号表

頁0-0029

10 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.18	人			
普通作業員	0.26	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

ポリエチレン管継手工 EF接合：1口
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0004号表

頁0-0030

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.084	人			
普通作業員	0.084	人			
諸雑費	14	%			
合計					
1箇所当り					

ポリエチレン管継手工 EF接合：2口
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0005号表

頁0-0031

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.12	人			
普通作業員	0.12	人			
諸雑費	14	%			
合計					
1箇所当り					

ポリエチレン管継手工 メカニカル接合
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0006号表

頁0-0032

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.04	人			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

メカニカル継手工 塩ビ管
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0007号表

頁0-0033

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.05	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

メカニカル継手工 塩ビ管
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0008号表

頁0-0034

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.06	人			
普通作業員	0.06	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

フランジ継手工
φ75 7.5k

施 工 単 価 表

施工 第0-0009号表

頁0-0035

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.06	人			
普通作業員	0.06	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

フランク継手工（取外・取付）
φ150 7.5k

施 工 単 価 表

施工 第0-0010号表

頁0-0036

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

補修弁設置工 ホールバー式
φ75×150H

施 工 単 価 表

施工 第0-0011号表

頁0-0037

1 基当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.19	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1基当り					

空気弁設置工 カムレバーロック式
フランジ一体型 φ25

施 工 単 価 表

施工 第0-0012号表

頁0-0038

1 基当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.1	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1基当り					

空気弁ボックス鉄蓋設置工
円形3号 (φ500)

施 工 単 価 表

施工 第0-0013号表

頁0-0039

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.1	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

空気弁用レゾンコンクリート製ボックス設置工
円形3号 H=0.9m用

施 工 単 価 表

施工 第0-0014号表

頁0-0040

1 組当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上部壁	1	個			施工 第0-0015号表
中部壁	1	個			施工 第0-0016号表
下部壁	1	個			施工 第0-0017号表
底 版	1	個			施工 第0-0018号表
合計					
1組当り					

上部壁

施 工 単 価 表

施工 第0-0015号表

頁0-0041

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.03	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

中部壁

施 工 単 価 表

施工 第0-0016号表

頁0-0042

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

下部壁

施 工 単 価 表

施工 第0-0017号表

頁0-0043

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

ホリエチレン管切断工
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0019号表

頁0-0045

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	7	%			
合計					
1口当り					

硬質塩化ビニル管切断工
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0020号表

頁0-0046

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	5	%			
合計					
1口当り					

硬質塩化ビニル管切断工
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0021号表

頁0-0047

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	5	%			
合計					
1口当り					

溶剤浸透防護スリーブ被覆工
φ100

施 工 単 価 表

施工 第0-0022号表

頁0-0048
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.3	人			
普通作業員	0.3	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

埋設標識シート工
シングル 幅150mm

施 工 単 価 表

施工 第0-0023号表

頁0-0049
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.4	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

管明示テープ工
幅50mm φ100ポリエチレン管

施 工 単 価 表

施工 第0-0024号表

頁0-0050
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.1	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

ポリエチレン管据付工 EF接合
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0025号表

頁0-0051
10 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.18	人			
普通作業員	0.26	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

ポリエチレン管継手工 EF接合：1口
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0026号表

頁0-0052

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.098	人			
普通作業員	0.098	人			
諸雑費	14	%			
合計					
1箇所当り					

ポリエチレン管継手工 EF接合：2口
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0027号表

頁0-0053

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.14	人			
普通作業員	0.14	人			
諸雑費	14	%			
合計					
1箇所当り					

ポリエチレン管継手工 メカニカル接合
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0028号表

頁0-0054

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.05	人			
諸雑費	1	%			
合計					
1口当り					

ホリチン管切断工
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0029号表

頁0-0055

1 口当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.02	人			
普通作業員	0.02	人			
諸雑費	7	%			
合計					
1口当り					

仕切弁ボックス鉄蓋設置工
円形1号 (φ250)

施 工 単 価 表

施工 第0-0030号表

頁0-0056

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.06	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

仕切弁用レジンコンクリート製ボックス設置工
円形1号 H=0.6m用

施 工 単 価 表

施工 第0-0031号表

頁0-0057

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上部壁	1	個			施工 第0-0032号表
下部壁	1	個			施工 第0-0033号表
底 版	1	個			施工 第0-0034号表
合計					
1個当り					

上部壁

施 工 単 価 表

施工 第0-0032号表

頁0-0058

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

下部壁

施 工 単 価 表

施工 第0-0033号表

頁0-0059

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

底 版

施 工 単 価 表

施工 第0-0034号表

頁0-0060

1 個当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.01	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1個当り					

溶剤浸透防護スリーブ被覆工
φ150

施 工 単 価 表

施工 第0-0035号表

頁0-0061
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.35	人			
普通作業員	0.35	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

管明示テープ 工
幅50mm φ150ポリエチレン管

施 工 単 価 表

施工 第0-0036号表

頁0-0062
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.11	人			
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

機械掘削工(バックホウ)
土砂

施 工 単 価 表

施工 第0-0037号表

頁0-0063
100 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.9	人			
普通作業員	5	人			
バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排2次)	11.1	時間			施工 第0-0038号表
諸雑費	1	式			
合計					
1m3当り					

バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排2次)

施 工 単 価 表

施工 第0-0038号表

頁0-0064

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	0.17	人			
軽油 小型ローリー(パト給)	5.9	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	1	時間			
諸雑費	1	式			
合計					
1時間当り					

購入土
真砂土

施 工 単 価 表

施工 第0-0039号表

頁0-0065
100 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
山土 CBR≧12	100	m3			
諸雑費	1	式			
合計					
1m3当り					

機械投入埋戻工(バックホウ)
タンパ 締固め 購入土(真砂土)

施 工 単 価 表

施工 第0-0040号表

頁0-0066
100 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排2次)	7.6	時間			施工 第0-0038号表
タンパ締固め	100	m3			第4号 施工パッケージ代価表
諸雑費	1	式			
合計					
1m3当り					

運搬工 機械積込 真砂土
4 t 積 0.5 k m以下

施 工 単 価 表

施工 第0-0041号表

頁0-0067
10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック 4t積級	0.25	日			施工 第0-0042号表
合計					
1m3当り					

ダンプトラック 4 t 積級

施 工 単 価 表

施工 第0-0042号表

頁0-0068

1 日当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般運転手	1	人			
軽油 小型ローリー(パト給)	32	L			
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損料(ダンプ) 4t 良好 タイヤ損料	1.29	日			
諸雑費	1	式			
合計					
1日当り					

発生土運搬工 機械積込 土砂
4 t 積 19.0 k m以下

施 工 単 価 表

施工 第0-0043号表

頁0-0069
10 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック 4t積級	1.1	日			施工 第0-0042号表
合計					
1m3当り					

残土等処分工
建設残土投棄料

施 工 単 価 表

施工 第0-0044号表

頁0-0070

1 m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設残土投棄料(地山) (公財)鳥取県建設技術センターが運営する帽子取第2事業所	1	m3			
諸雑費	1	式			
合計					
1m3当り					

軽量鋼矢板建込工・引抜工(両側分)
矢板長2.0m以下

施 工 単 価 表

施工 第0-0045号表

頁0-0071
100 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	6	人			
バックホウ 山0.28(平0.20)m3(排2次)	11.6	時間			施工 第0-0038号表
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
バックホウ 山0.45(平0.35)m3 2.9t(排1次)	6.2	時間			施工 第0-0046号表
諸雑費	1	式			
合計					
1m当り					

バックホウ 山0.45(平0.35)m3 2.9t(排1次)

施 工 単 価 表

施工 第0-0046号表

頁0-0072

1 時間当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	0.17	人			
軽油 小型ローリー(パト給)	8.6	L			
バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排対型(1次)] 標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)吊能力2.9t	1	時間			
諸雑費	1	式			
合計					
1時間当り					

通水試験工 HPPE φ 100
既設管と連絡せず給水車で注水

施 工 単 価 表

施工 第0-0047号表

頁0-0073
1,000 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	2	人			
普通作業員	3	人			
一般運転手	1	人			
諸雑費 器具損料及び諸雑費	30	%			
合計					
1m当り					

通水試験工 HPPE φ 150
既設管と連絡せず給水車で注水

施 工 単 価 表

施工 第0-0048号表

頁0-0074
1,000 m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	2	人			
普通作業員	3	人			
一般運転手	1	人			
諸雑費 器具損料及び諸雑費	30	%			
合計					
1m当り					

第1号 施工パッケージ代価表

舗装版切断工 アスファルト舗装版
舗装版厚15cm以下

積算単価
標準単価

m
m

	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機労材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			15.05%					
K1	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式]	切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%	0.0081	供用日 日			
	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)・湿式]	切削深20cm級 ブレード径φ56cm						
その他	その他(機械)		4.81%					
R			58.43%					
R1	特殊作業員		19.96%	0.00725	人			
	特殊作業員				人			
R2	土木一般世話役		10.88%	0.00361	人			
	土木一般世話役				人			
R3	普通作業員		8.92%	0.00361	人			
	普通作業員				人			
その他	その他(労務)		18.67%					
Z			26.52%					
Z1	コンクリートカッタ(ブレード)	径18インチ(450mm)	22.39%	0.00241	枚			
	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ				枚			
Z2	ガソリン	レギュラースタンド	2.81%	0.1345	L			
	ガソリン レギュラー スタンド				L			
その他	その他(材料)		1.32%					

第2号 施工パッケージ代価表

舗装版破碎工 アスファルト舗装版
舗装版厚15cm以下

積算単価
標準単価

m2
m2

	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			12.85%					
K1	＜貫＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型)	容量0.45(0.35)m3(超低騒音・2011年基準)	12.85%	0.00432	日			
	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型]	山積0.45m3(平積0.35m3)			日			
R			81.24%					
R1	土木一般世話役		29.54%	0.00207	人			
	土木一般世話役				人			
R2	特殊運転手		27.52%	0.00206	人			
	運転手(特殊)				人			
R3	普通作業員		24.18%	0.00206	人			
	普通作業員				人			
Z			5.91%					
Z1	軽油	小型ローリー(ノパト給)	5.91%	0.09309	L			
	軽油 ノパトロール給油				L			

第3号 施工パッケージ代価表

人力掘削工 土砂 現場制約あり						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機労材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
R			100%					
R1	普通作業員		100%	0.26	人 人			
	普通作業員							

第4号 施工パッケージ代価表

タンパ締固め						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			1.17%					
K1	タンパ(賃貸)	質量60～80kg	1.17%	0.04119	基・日 日			
	タンパ及びランマ	質量60～80kg						
R			97.16%					
R1	特殊作業員		51.21%	0.03	人			
	特殊作業員				人			
R2	普通作業員		45.95%	0.02999	人			
	普通作業員				人			
Z			1.67%					
Z1	ガソリン	レギュラースタンド	1.67%	0.17981	L L			
	ガソリン レギュラー スタンド							

第5号 施工パッケージ代価表

積込(ルース) 真砂土 小規模(標準)						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機労材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			26.01%					
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排対型(2次基準)]	標準バケット容量(山積0.28/平積0.2m3)	26.01%	0.03783	供用日 日			
	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	山積0. 28m3(平積0. 2m3)						
R			62.89%					
R1	特殊運転手		62.89%	0.0238	人			
	運転手(特殊)				人			
Z			11.1 %					
Z1	軽油	小型ローリー(ノパト給)	11.1 %	0.87987	L			
	軽油 ノパトロール給油				L			

第6号 施工パッケージ代価表

下層路盤工 RC-40 t=15cm						積算単価 標準単価	m2 m2	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			5.72%					
K1	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(2014年規制)]	ブレード幅3.1m	3.95%	0.00157	供用日 日			
	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(2014年規制)]	ブレード幅3.1m						
K2	ロードローラ(賃貸) マカダム	質量10t(超低騒音・2014年基準)	0.49%	0.00163	台・日 日			
	ロードローラ[マカダム] 質量10t							
K3	タイヤローラ(賃貸)	質量13～14t(超低騒音・2014年基準)	0.49%	0.00161	台・日 日			
	タイヤローラ 質量13～14t							
その他	その他(機械)		0.79%					
R			18.33%					
R1	特殊運転手		8.06%	0.00417	人 人			
	運転手(特殊)							
R2	普通作業員		2.95%	0.00173	人 人			
	普通作業員							
R3	特殊作業員		2.63%	0.00139	人 人			
	特殊作業員							
R4	土木一般世話役		2.16%	0.00104	人 人			
	土木一般世話役							
その他	その他(労務)		2.53%					
Z			75.95%					
Z1	再生クラッシャーラン	RCC-40	74.21%	1.27466	m3 m3			
	クラッシャーラン C-40							
Z2	軽油	小型ローリー(パト給)	1.5 %	0.14058	L L			
	軽油 パトロール給油							
その他	その他(材料)		0.24%					

第7号 施工パッケージ代価表

上層路盤工 M-30 t=11cm						積算単価 標準単価	m2 m2	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機労材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			11.57%					
K1	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(2014年規制)]	ブレード幅3.1m	7.99%	0.00157	供用日 日			
	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(2014年規制)]	ブレード幅3.1m						
K2	ロードローラ(賃貸) マカダム	質量10t(超低騒音・2014年基準)	1.0 %	0.00165	台・日 日			
	ロードローラ[マカダム]	質量10t						
K3	タイヤローラ(賃貸)	質量13～14t(超低騒音・2014年基準)	0.99%	0.0016	台・日 日			
	タイヤローラ	質量13～14t						
その他	その他(機械)		1.59%					
R			37.08%					
R1	特殊運転手		16.31%	0.00417	人 人			
	運転手(特殊)							
R2	普通作業員		5.97%	0.00173	人 人			
	普通作業員							
R3	特殊作業員		5.32%	0.00139	人 人			
	特殊作業員							
R4	土木一般世話役		4.37%	0.00104	人 人			
	土木一般世話役							
その他	その他(労務)		5.11%					
Z			51.35%					
Z1	粒度調整碎石	M-30	47.84%	1.2834	m3 m3			
	再生粒度調整碎石	RM-40						
Z2	軽油	小型ローリー(パト給)	3.03%	0.14136	L L			
	軽油	パトロール給油						
その他	その他(材料)		0.48%					

第8号 施工パッケージ代価表

仮舗装 再生粗粒度As(20)

t=3cm

積算単価
標準単価

m2
m2

	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			0.43%					
K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.5～0.6t	0.24%	0.00563	供用日 日			
	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.5～0.6t						
K2	振動コンパクタ[前進型]	機械質量40～60kg	0.13%	0.01226	供用日 日			
	振動コンパクタ[前進型]	機械質量40～60kg						
その他	その他(機械)		0.06%					
R			44.34%					
R1	特殊作業員		19.57%	0.02338	人			
	特殊作業員				人			
R2	普通作業員		14.05%	0.0187	人			
	普通作業員				人			
R3	土木一般世話役		4.28%	0.00466	人			
	土木一般世話役				人			
その他	その他(労務)		6.44%					
Z			55.23%					
Z1	アスファルト合材	再生粗粒度アスコン(20)	50.52%	2.51961	t			
	密粒度アスコン(20)				t			
Z2	アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	4.48%	1.25817	L			
	アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用			L			
Z3	ガソリン	レギュラースタンド	0.17%	0.03193	L			
	ガソリン	レギュラー スタンド			L			
Z4	軽油	小型ローリー(ノパト給)	0.03%	0.00628	L			
	軽油	ノパトロール給油			L			
その他	その他(材料)		0.03%					

第9号 施工パッケージ代価表

殻運搬工 機械積込 As殻

10t積 28.4km以下

						積算単価 標準単価	m3 m3	
	名称	規格	構成比	換算数量	単位	琴浦町 令和08年04月10日 代表機労材単価(東京R6.4)	補正情報	出典等
K			40.77%					
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	40.77%	0.06591	供用日 日			
	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)						
R			44.82%					
R1	一般運転手		44.82%	0.064	人			
	運転手(一般)				人			
Z			14.41%					
Z1	軽油	小型ローリー(ノパト給)	14.41%	3.51938	L			
	軽油 ノパトール給油				L			

数量計算書

名称(材料費)	形状寸法	単位	計	町道(As舗装)		備考
				・HPPE φ 100(下見線) 配管延長L=111.66m	・HPPE φ 150(第2配水池線) 配管延長L=112.72m	
水道配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ 100×5m	本	19	19		
水道配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ 150×5m	本	17		17	
水道配水用ポリエチレン管	ブレースェント φ 100×5m	本	2	2		
水道配水用ポリエチレン管	ブレースェント φ 150×5m	本	4		4	
水道用耐衝撃性 硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP φ 100×4m	本	1	1		
水道用耐衝撃性 硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP φ 150×4m	本	1		1	
メカニカルバンド 塩ビ管	内外面粉体 φ 150×45°	個	2	1	1	
メカニカルバンド V×ISO-P	内外面粉体 φ 100×45°	個	1	1		
メカニカルバンド V×ISO-P	内外面粉体 φ 150×45°	個	1		1	
メカニカルバンド ISO-P	内外面粉体 φ 100×45°	個	2	2		
メカニカルバンド ISO-P	内外面粉体 φ 150×45°	個	2		2	
メカニカルフランジ ISO-P	内外面粉体 φ 100P× φ 150F	個	1	1		
メカニカルフランジ ISO-P	内外面粉体 φ 150	個	1		1	
メカ形片落管 塩ビ管	内外面粉体 φ 150× φ 100	個	1	1		
EF両受バンド	φ 100×45°	個	2	2		
EF両受バンド	φ 150×45°	個	2		2	
EF両受バンド	φ 100×22° 1/2	個	2	2		
EF両受バンド	φ 150×22° 1/2	個	2		2	
EF両受バンド	φ 100×11° 1/4	個	2	2		
EF両受バンド	φ 150×11° 1/4	個	2		2	
EF片受バンド	φ 100×45°	個	2	2		
EF片受バンド	φ 150×45°	個	2		2	
EF片受バンド	φ 100×22° 1/2	個	1	1		
EF片受バンド	φ 150×22° 1/2	個	1		1	
EFソケット	φ 100	個	2	2		
EFソケット	φ 150	個	1		1	
EF両受Sバンド	φ 100×300H	個	2	2		
EF両受Sバンド	φ 150×300H	個	2		2	
フランジ付EFチーズ	φ 100× φ 75	個	2	2		

名称(労務費)	形状寸法	単位	計	町道(As舗装)		備考
				・HPPE φ 100(下見線) 配管延長L=111.66m	・HPPE φ 150(第2配水池線) 配管延長L=112.72m	
ポリエチレン管据付工	EF接合 φ 100	m	108.77	108.77		
ポリエチレン管据付工	EF接合 φ 150	m	109.80		109.80	
塩ビ管据付工	φ 100	m	2.09	2.09		
塩ビ管据付工	φ 150	m	3.72	0.80	2.92	
ポリエチレン管継手工	EF接合:1口 φ 100	口	32	32		
ポリエチレン管継手工	EF接合:1口 φ 150	口	31		31	
ポリエチレン管継手工	EF接合:2口 φ 100	口	5	5		
ポリエチレン管継手工	EF接合:2口 φ 150	口	5		5	
ポリエチレン管継手工	メカニカル接合 φ 100	口	6	6		
ポリエチレン管継手工	メカニカル接合 φ 150	口	6		6	
メカニカル継手工	塩ビ管 φ 100	口	2	2		
メカニカル継手工	塩ビ管 φ 150	口	6	3	3	
フランジ継手工	LSPフランジ'結合補強具 φ 75 7.5k	口	12	6	6	
フランジ継手工 取外し・取付け	LSPフランジ'結合補強具 φ 150 7.5k	口	2	1	1	
補修弁取付工	ボールレバー式 φ 75×150H	ヶ所	4	2	2	
空気弁取付工	カムレバーロック式 φ 25	ヶ所	4	2	2	
空気弁ボックス設置工	円形3号(φ 500) H=0.9m用	組	4	2	2	
ポリエチレン管切断工	φ 100	口	15	15		
ポリエチレン管切断工	φ 150	口	14		14	
塩ビ管切断工	φ 100	口	1	1		
塩ビ管切断工	φ 150	口	10	5	5	
コスモ式ストッパー プラグ3型 設置工	塩ビ管・鋼管用 φ 150	基	1		1	
仕切弁ボックス設置工	円形1号(φ 250) H=0.6m用	組	1		1	
溶剤浸透防止スリーブ 被覆工	φ 100	m	108.77	108.77		
溶剤浸透防止スリーブ 被覆工	φ 150	m	109.80		109.80	
埋設標識シート工	シングル 幅150mm	m	222.56	110.76	111.80	
管明示テープ工	年号入り 幅50mm	m	224.38	111.66	112.72	

[illegible]

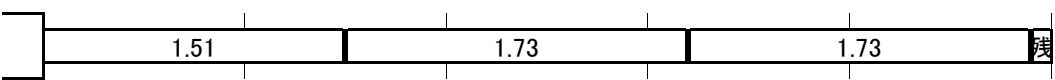
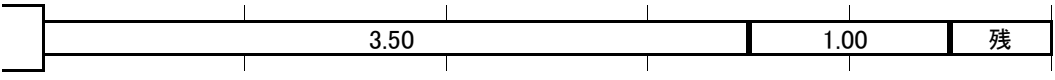
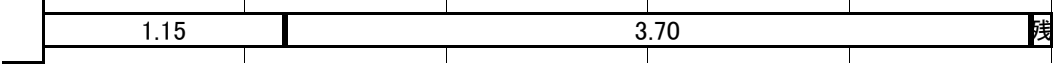
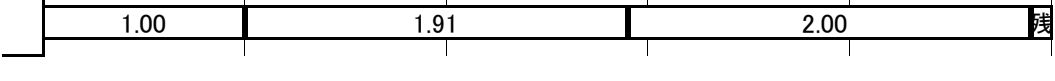
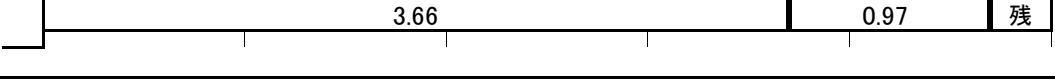
	名称	形状寸法	数量	寸法(m)		区分延長			
				(L)	(W・H)	HPPE φ 100 下見線	HPPE φ 150 第2配水池線	空気弁工	
								下見線	第2配水池線
①	メカニカルベンド	塩ビ管 φ 150×45°	1 個	0.08		0.04			
①	メカニカルベンド	塩ビ管 φ 150×45°	1 個	0.08			0.04		
	乙切管	塩ビ管 φ 150	1 個	0.80		0.80			
	乙切管	塩ビ管 φ 150	1 個	2.92			2.92		
	メカ形片落管	塩ビ管 φ 150×φ 100	1 個	0.04		0.04			
	乙切管	塩ビ管 φ 100	1 個	2.09		2.09			
②	メカニカルベンド	V×ISO-P φ 100×45°	1 個	0.06		0.06			
②	メカニカルベンド	V×ISO-P φ 150×45°	1 個	0.08			0.08		
	乙切管	φ 100	1 個	3.70		3.70			
	乙切管	φ 150	1 個	2.26			2.26		
	フランジ付EFチーズ	φ 100×φ 75	1 個	0.11	0.21	0.11		0.21	
	フランジ付EFチーズ	φ 150×φ 75	1 個	0.51	0.19		0.51		0.19
	両フランジ短管	φ 75×200L	2 個		0.20			0.20	0.20
	ボールレバー式補修弁	φ 75×150H	2 個		0.15			0.15	0.15
	カムレバーロック式 急速空気弁	φ 25	2 基		0.18			0.18	0.18
	乙切管	φ 100	1 個	1.00		1.00			
	乙切管	φ 150	1 個	2.00			2.00		
③	EF両受ベンド	φ 100×22° 1/2	1 個	0.28		0.28			
③	EF片受ベンド	φ 150×22° 1/2	1 個	0.38			0.38		
	乙切管	φ 100	1 個	1.91		1.91			
	乙切管	φ 150	1 個	1.76			1.76		
	EF両受ベンド	φ 100×45°	1 個	0.38		0.38	伏越工 (a) 直線 4.21 管芯 4.89	伏越工 (a) 直線 4.34 管芯 5.04	
	EF両受ベンド	φ 150×45°	1 個	0.47					
	乙切管	φ 100	1 個	0.82		0.82			
	乙切管	φ 150	1 個	0.74					
	EF片受ベンド	φ 100×45°	1 個	0.49		0.49			
	EF片受ベンド	φ 150×45°	1 個	0.62					
	甲切管	φ 100	1 個	1.51		1.51			
	甲切管	φ 150	1 個	1.38					
	EF両受ベンド	φ 100×45°	1 個	0.38		0.38			
	EF両受ベンド	φ 150×45°	1 個	0.47					
	乙切管	φ 100	1 個	0.82		0.82			
	乙切管	φ 150	1 個	0.74			0.74		
	EF片受ベンド	φ 100×45°	1 個	0.49		0.49			
	EF片受ベンド	φ 150×45°	1 個	0.62			0.62		
	甲切管	φ 100	1 個	3.50		3.50			
	甲切管	φ 150	1 個	3.54			3.54		
④	EF両受ベンド	φ 100×11° 1/4	1 個	0.26		0.26			
④	EF両受ベンド	φ 150×11° 1/4	1 個	0.34			0.34		
	水道配水用ポリエチレン管 フレーション管	φ 100×5m	1 本	5.00		5.00			

	水道配水用ポリエチレン管 フレーション管	φ 150×5m	1 本	5.00			5.00		
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 100×5m	6 本	5.00		30.00			
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 150×5m	6 本	5.00			30.00		
	EFソケット	φ 100	1 個	0.00		0.00			
	EFソケット	φ 150	1 個	0.00			0.00		
	乙切管	φ 100	1 個	1.73		1.73			
	乙切管	φ 150	1 個	1.64			1.64		
⑤	EF片受ベンド	φ 100×22° 1/2	1 個	0.39		0.39			
⑤	EF片受ベンド	φ 150×22° 1/2	1 個	0.53			0.53		
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 100×5m	2 本	5.00		10.00			
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 150×5m	2 本	5.00			10.00		
	甲切管	φ 100	1 個	1.15		1.15			
	フランジ付きEFチーズ	φ 100×φ 75	1 個	0.11	0.21	0.11		0.21	
	EF片受フランジ付チーズ	φ 150×φ 75	1 個	0.65	0.19		0.65		0.19
	両フランジ短管	φ 75×200L	2 個		0.20			0.20	0.20
	ボールレバー式補修弁	φ 75×150H	2 個		0.15			0.15	0.15
	カムレバーロック式 急速空気弁	φ 25	2 基		0.18			0.18	0.18
	乙切管	φ 100	1 個	1.00		1.00			
	甲切管	φ 150	1 個	2.20			2.20		
	EF片受Sベンド	φ 100×300h	1 個	0.79 0.90		0.79 0.90	伏越工 (b) 直線 3.58 管芯 3.80	伏越工 (b) 直線 3.52 管芯 3.74	
	EF両受Sベンド	φ 150×300h	1 個	0.76 0.87					
	EFソケット	φ 100	1 個	0.00		0.00			
	乙切管	φ 100	1 個	2.00		2.00			
	乙切管	φ 150	1 個	2.00					
	EF両受Sベンド	φ 100×300h	1 個	0.79 0.90		0.79 0.90			
	EF両受Sベンド	φ 150×300h	1 個	0.76 0.87					
	甲切管	φ 100	1 個	3.66		3.66			
	乙切管	φ 150	1 個	3.10			3.10		
⑥	EF両受ベンド	φ 100×22° 1/2	1 個	0.28		0.28			
⑥	EF両受ベンド	φ 150×22° 1/2	1 個	0.38			0.38		
	乙切管	φ 100	1 個	1.73		1.73			
	乙切管	φ 150	1 個	1.64			1.64		
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 100×5m	2 本	5.00		10.00			
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 150×5m	2 本	5.00			10.00		
⑦	EF両受ベンド	φ 100×11° 1/4	1 個	0.26		0.26			
⑦	EF両受ベンド	φ 150×11° 1/4	1 個	0.34			0.34		
	乙切管	φ 100	1 個	1.84		1.84			
	乙切管	φ 150	1 個	1.78			1.78		
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 100×5m	4 本	5.00		20.00			
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	φ 150×5m	4 本	5.00			20.00		
⑧	メカニカルベンド	ISO-P φ 100×45°	1 個	0.06		0.06			
⑧	メカニカルベンド	ISO-P φ 150×45°	1 個	0.08			0.10		

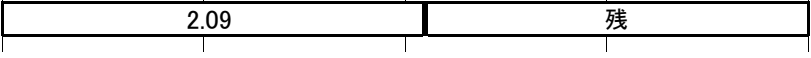
[illegible]

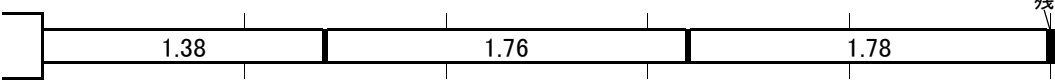
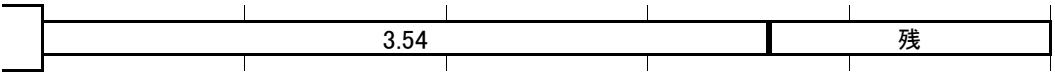
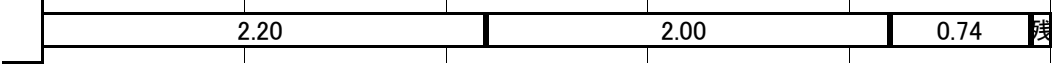
[illegible]

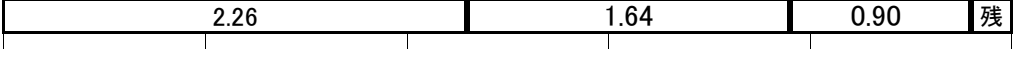
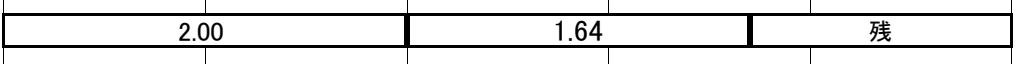
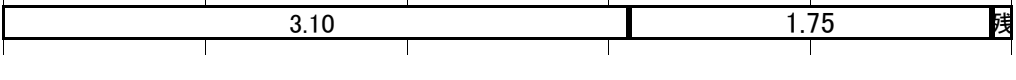
切管調査 工事名:上水道配水管布設替工事(下見地区R8-1工区)

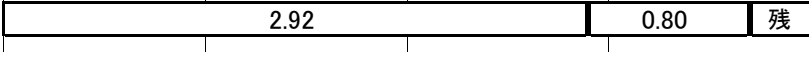
No.	管種:水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管φ100×5m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		4.97	0.03	切断	3
2		4.50	0.50	切断	2
3		4.85	0.15	切断	2
4		4.91	0.09	切断	3
5		4.63	0.37	切断	2
計		23.86	1.14		12

No.	管種:水道配水用ポリエチレン管 プレーンエンド管φ100×5m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		3.60	1.40	切断	3
計		3.60	1.40		3
合計		27.46	2.54		15

No.	管種:水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 φ100×4m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		2.09	1.91	切断	1
	※塩ビ管(既設管)切断 φ100～0口			切断	0
計		2.09	1.91		1

No.	管種:水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管φ150×5m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		4.92	0.08	切断	3
2		3.54	1.46	切断	1
3		4.94	0.06	切断	3
計		13.40	1.60		7

No.	管種:水道配水用ポリエチレン管 プレーンエンド管φ150×5m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		4.80	0.20	切断	3
2		3.64	1.36	切断	2
3		4.85	0.15	切断	2
計		13.29	1.71		7
合計		26.69	3.31		14

No.	管種:水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 φ150×4m	(m)		(口)	
		使用	残管	切断	口数
1		3.72	0.28	切断	2
	※塩ビ管(既設管)切断 φ150～4口			切断	8
計		3.72	0.28		10

〔区間毎の使用材料及び配管延長〕										工事名：上水道配水管布設替工事（下見地区R8-1工区）									
区 間		φ100 下見線				備 考		φ150 第2配水池線				備 考							
		延長		内 容				延長		内 容									
① ～ ②	3.00	m	①メカベント φ150×45°		0.04 m		(0.08)	3.00	m	①メカベント φ150×45°		0.04 m		(0.08)					
			乙切管 φ150(HIVP)		0.80 m					乙切管 φ150(HIVP)		2.92 m							
			メカ片落管 φ150×φ100		0.04 m														
			乙切管 φ100(HIVP)		2.09 m														
② ～ ③	4.98	m	②メカベント φ100×45° V×ISO-P		0.03 0.06 m			5.00	m	②メカベント φ150×45° V×ISO-P		0.04 0.08 m							
					0.03							0.04							
			乙切管 φ100		3.70 m					乙切管 φ150		2.26 m							
			フランジ 付EFチース φ100×φ75(空気弁工)		0.11 m					フランジ 付EFチース φ150×φ75(空気弁工)		0.51 m							
			乙切管 φ100		1.00 m					乙切管 φ150		2.00 m							
③ ～ ④	9.89 (10.57)	m	③EF両受ベント φ100×22° 1/2		0.14 0.28 m		(4.89)	10.00 (10.70)	m	③EF両受ベント φ150×22° 1/2		0.19 0.38 m		(5.04)					
					0.14							0.19							
			乙切管 φ100		1.91 m					乙切管 φ150		1.76 m							
			伏せ越工(a) φ100		4.21 m					伏せ越工(a) φ150		4.34 m							
			甲切管 φ100		3.50 m					甲切管 φ150		3.54 m							
④ ～ ⑤	37.00	m	④EF両受ベント φ100×11° 1/4		0.13 0.26 m			37.00	m	④EF両受ベント φ150×11° 1/4		0.17 0.34 m							
					0.13							0.17							
			ブレンシント 管 φ100(5m×1本)		5.00 m					ブレンシント 管 φ150(5m×1本)		5.00 m							
			EF受口付直管 φ100(5m×6本)		30.00 m					EF受口付直管 φ150(5m×6本)		30.00 m							
			EFソケット φ100		0.00 m					EFソケット φ150		0.00 m							
⑤ ～ ⑥	19.89 (20.11)	m	⑤EF片受ベント φ100×22° 1/2		0.14 0.39 m		(3.80)	20.00 (20.22)	m	⑤EF片受ベント φ150×22° 1/2		0.19 0.53 m		(3.74)					
					0.25							0.34							
			EF受口付直管 φ100(5m×2本)		10.00 m					EF受口付直管 φ150(5m×2本)		10.00 m							
			甲切管 φ100		1.15 m					フランジ 付EFチース φ150×φ75(空気弁工)		0.65 m							
			フランジ 付EFチース φ100×φ75(空気弁工)		0.11 m					甲切管 φ150		2.20 m							
⑥ ～ ⑦	12.00	m	⑥EF両受ベント φ100×22° 1/2		0.14 0.28 m			12.00	m	⑥EF両受ベント φ150×22° 1/2		0.19 0.38 m							
					0.14							0.19							
			乙切管 φ100		1.73 m					乙切管 φ150		1.64 m							
			EF受口付直管 φ100(5m×2本)		10.00 m					EF受口付直管 φ150(5m×2本)		10.00 m							
⑦ ～ ⑧	22.00	m	⑦EF両受ベント φ100×11° 1/4		0.13 0.26 m			22.00	m	⑦EF両受ベント φ150×11° 1/4		0.17 0.34 m							
					0.13							0.17							
			乙切管 φ100		1.84 m					乙切管 φ150		1.78 m							
			EF受口付直管 φ100(5m×4本)		20.00 m					EF受口付直管 φ150(5m×4本)		20.00 m							
⑧ ～ ⑨	1.00	m	⑧メカベント φ100×45° ISO-P		0.03 0.06 m			1.00	m	⑧メカベント φ150×45° ISO-P		0.05 0.10 m							
					0.03							0.05							
			乙切管 φ100		0.94 m					乙切管 φ150		0.90 m							
⑨ ～ ⑩	1.00	m	⑨メカベント φ100×45° ISO-P		0.03 0.06 m			1.80	m	⑨メカベント φ150×45° ISO-P		0.05 0.10 m							
					0.03							0.05							
			乙切管 φ100		0.97 m					乙切管 φ150		1.75 m							
			⑩メカフランジ (ISO-P) φ150×φ100		0.00 m					⑩メカフランジ (ISO-P) φ150		0.00 m							
平面延長	計	110.76 m							計	111.80 m									
配管延長	計	111.66 m							計	112.72 m									

区間	φ100 下見線			備考	φ150 第2配水池線			備考
	延長		内 容		延長		内 容	
① ～ ②	3.00	m	メカニカル継手工（塩ビ管）φ150		3.00	m	メカニカル継手工（塩ビ管）φ150	
			メカニカル継手工（塩ビ管）φ100				塩ビ管据付工φ150	
			塩ビ管据付工φ150					
② ～ ③	4.98	m	配ボリ管据付工φ100		5.00	m	配ボリ管据付工φ150	
			配ボリ継手工（メカニカル）φ100				配ボリ継手工（メカニカル）φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
			EF継手工(2口) φ100				EF継手工(2口) φ150	
			空気弁設置工φ25				空気弁設置工φ25	
③ ～ ④	9.89 (10.57)	m	配ボリ管据付工φ100		10.00 (10.70)	m	配ボリ管据付工φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
			EF継手工(2口) φ100				EF継手工(2口) φ150	
④ ～ ⑤	37.00	m	配ボリ管据付工φ100		37.00	m	配ボリ管据付工φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
⑤ ～ ⑥	19.89 (20.11)	m	配ボリ管据付工φ100		20.00 (20.22)	m	配ボリ管据付工φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
			EF継手工(2口) φ100				EF継手工(2口) φ150	
			空気弁設置工φ25				空気弁設置工φ25	
			補修弁設置工φ75×150h				補修弁設置工φ75×150h	
⑥ ～ ⑦	12.00	m	配ボリ管据付工φ100		12.00	m	配ボリ管据付工φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
⑦ ～ ⑧	22.00	m	配ボリ管据付工φ100		22.00	m	配ボリ管据付工φ150	
			EF継手工(1口) φ100				EF継手工(1口) φ150	
⑧ ～ ⑨	1.00	m	配ボリ管据付工φ100		1.00	m	配ボリ管据付工φ150	
			配ボリ継手工（メカニカル）φ100				配ボリ継手工（メカニカル）φ150	
⑨ ～ ⑩	1.00	m	配ボリ管据付工φ100		1.80	m	配ボリ管据付工φ150	
			配ボリ継手工（メカニカル）φ100				配ボリ継手工（メカニカル）φ150	
計	110.76 (111.66)	m	※ 溶剤浸透防護スリーブ工φ100	111.66m-塩ビ2.89m	111.80 (112.72)	m	※ 溶剤浸透防護スリーブ工φ150	112.72m-塩ビ2.92m
			埋設標識シート工				埋設標識シート工	
			管明示テープ工				管明示テープ工	
			管切断工(配ボリ管)φ100				管切断工(配ボリ管)φ150	
			管切断工(塩ビ管)φ100				管切断工(塩ビ管)φ150	既設管切断工含む

〈離隔について〉

埋設する水道管と他の構造物や埋設管との**最小離隔距離**は、原則として次のとおりとする。

(当該水道管)	(平行離隔距離)	(交差離隔距離)
φ 50mm 以下	20cm 以上	10cm 以上
φ 300mm 未満	30cm 以上	15cm 以上
φ 300mm 以上	40cm 以上	20cm 以上

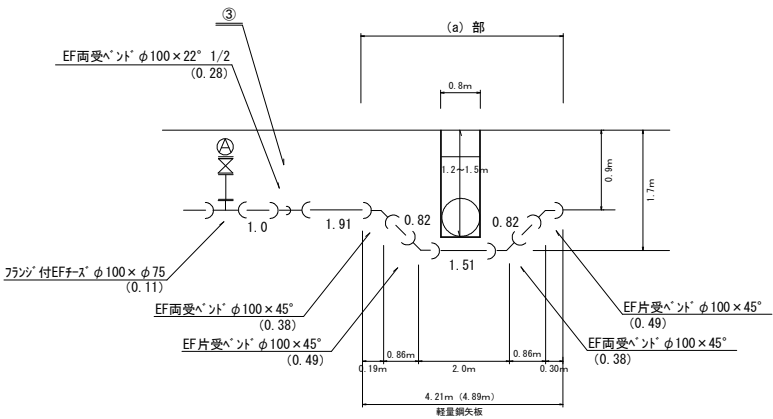
離隔距離とは、管外面間の水平及び鉛直方向における距離をいい、2本以上の水道管が交差する場合は、大口径側の値とし、交差部には継手を設けないこと。

また、高圧ガス管については、別途協議をおこない、その指示に従うこと。

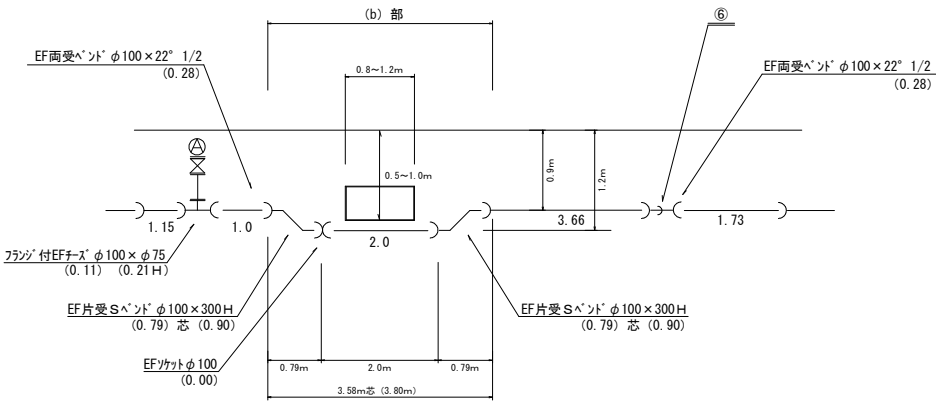


位 置	鳥取県 東伯郡 琴浦町		
	大字 三本杉地内		
工 事 名	上水道配水管布設工事 (下三本杉地区陥下工区)		
図 名	平面図 2		
単 位	M・mm	縮 尺	non
6 葉 中 ノ 2			
令和 8 年 度 施 行 琴 浦 町			

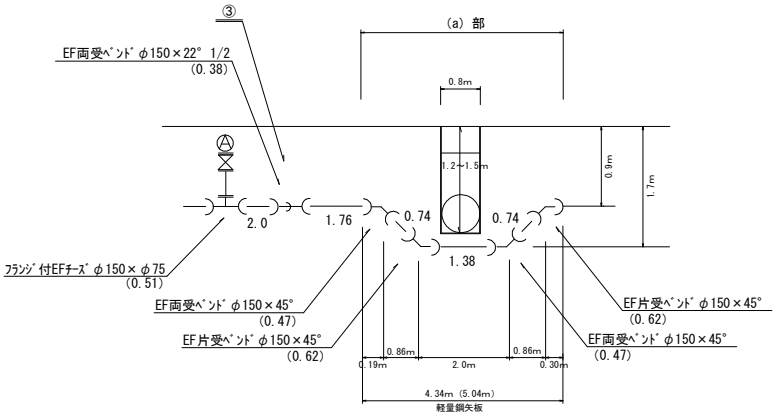
φ100 下見線 伏越工 (a) 部



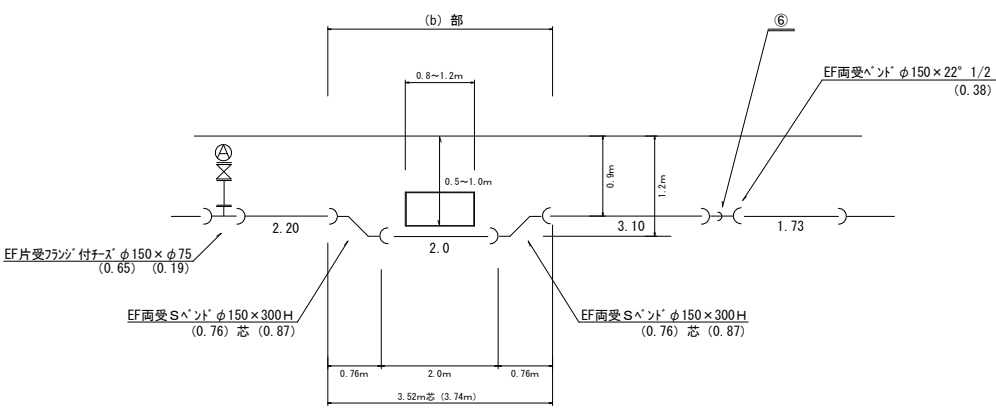
φ100 下見線 伏越工 (b) 部



φ150 第2配水池線 伏越工 (a) 部

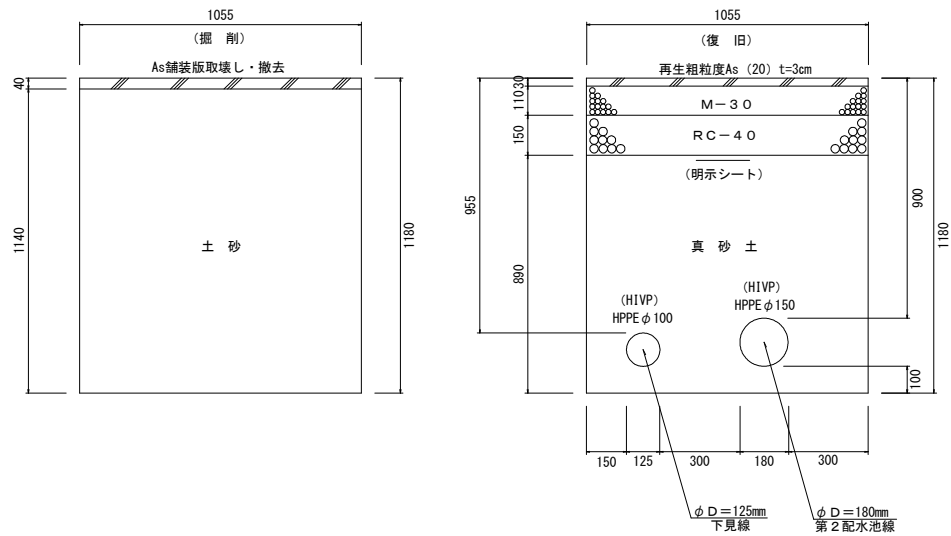


φ150 第2配水池線 伏越工 (b) 部



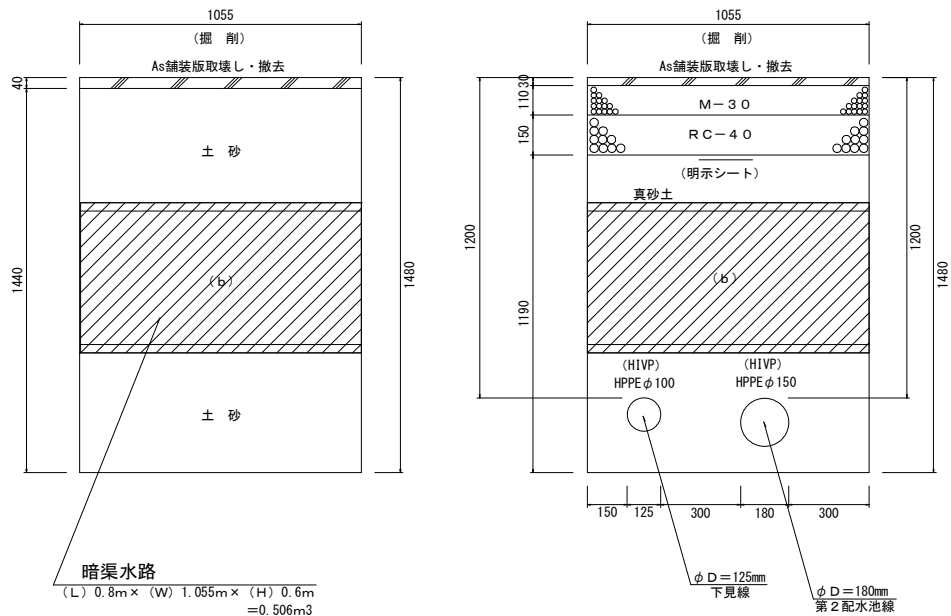
位 置	鳥取県 東伯郡 琴浦町
工 事 名	大字 三本杉地内 上水道配水管布設工事 (下三本杉地区R8-1工区)
図 名	本設配管図 2
単 位	M・mm 縮 尺 non
6 葉 中 ノ 4	
令和 8 年 度 施 行 琴 浦 町	

〈土工①〉 HPPE φ150・φ100 w=1.055m H=0.9m L=104.19m



〈土工②〉 HPPE φ150・φ100 w=1.055m H=1.2m L=3.52m

(b) 部

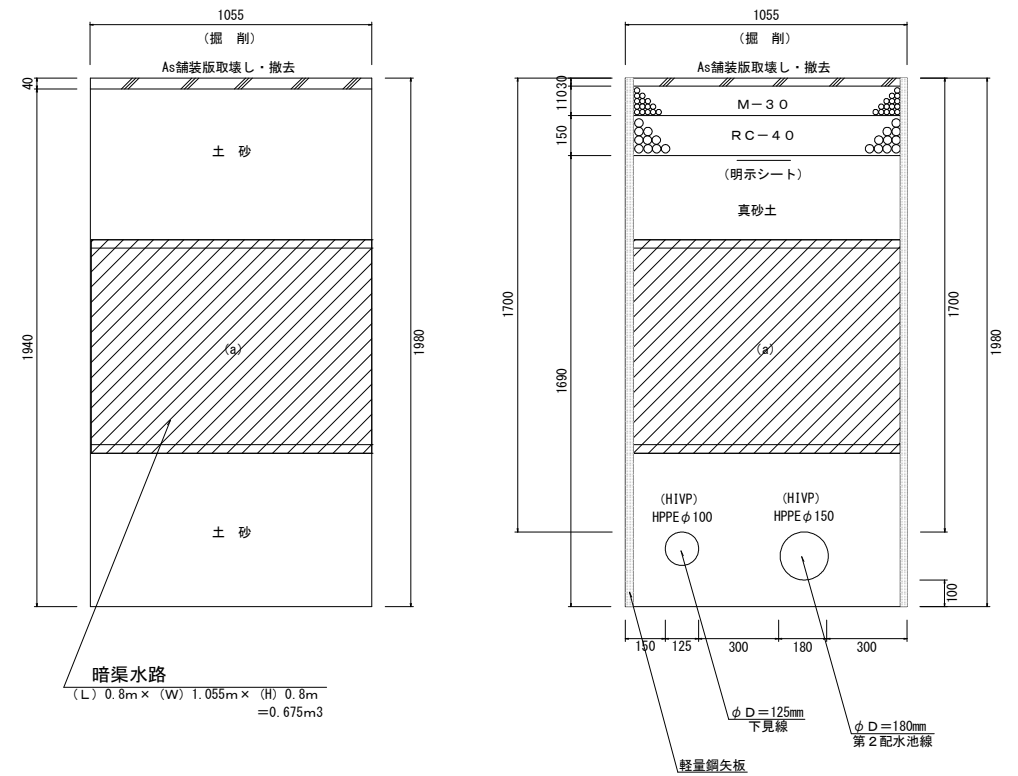


暗渠水路

(L) 0.8m × (W) 1.055m × (H) 0.6m
=0.506m³

〈土工③〉 HPPE φ150・φ100 w=1.055m H=1.7m L=4.09m

(a) 部

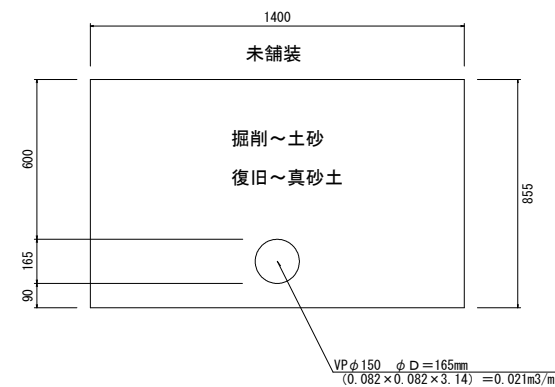


暗渠水路

(L) 0.8m × (W) 1.055m × (H) 0.8m
=0.675m³

軽量鋼矢板

〈土工④〉 不断水バルブ設置工 L=1.74m



位 置	鳥取県 東伯郡 琴浦町
工 事 名	大字 三本杉地内 上水道配水管布設工事 (下三本杉地区R8-1工区)
図 名	掘削断面図
単 位	M・mm 縮 尺 non
	6 葉 中 ノ 5
令 和 8 年 度 施 行	琴 浦 町